

会 議 録

1 会議名

令和2年度第8回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

① 地域活動支援事業（追加募集分）の審査に係るプレゼンテーション

- 1) 本日の進め方の説明
- 2) プレゼンテーション

② 地域活動支援事業（追加募集分）の審査に係る意見交換

- 1) 今後の進め方の説明
- 2) 意見交換

3 開催日時

令和2年10月16日（金）午後6時30分から午後8時15分まで

4 開催場所

上越市市役所 4階 401会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委員：阿部一博、石田秀雄、板垣勝雄、市川 優、太田一已（会長）、岡本重孝、白濱昭博、田中裕子（副会長）、谷 健一、藤田晴子、本多俊雄、松澤優作、丸山佳子、山田 孝、吉田 実（副会長）、吉田義昭、鷺澤和省、渡邊康子、渡部忠行（欠席1人）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

- ・ 会議の開会を宣言

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告

【太田会長】

- ・挨拶

【藤井係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【太田会長】

- ・会議録の確認：谷 委員に依頼

次第3 議題「(1) 協議事項」の「① 地域活動支援事業（追加募集分）の審査に係るプレゼンテーション」の「1) 本日の進め方の説明」に入る。事務局より「本日の審議の進め方」について説明を求める。

【藤井係長】

- ・本日の進め方の説明

【太田会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

以上で次第3 議題「(1) 協議事項」の「① 地域活動支援事業（追加募集分）の審査に係るプレゼンテーション」の「1) 本日の進め方の説明」を終了する。

次に「2) プレゼンテーション」に入る。ここからの進行は事務局に一任し、再質問については自分が進行する。

－ 提案者入場 －

【春-追1 提案者】

- ・「春-追1 春日地区青少年剣道育成事業」についてプレゼンテーション
- ・事前質問への回答

(質問4) 小学生と中学生の会費の額に大きな差がある。その理由を聞きたい。

(質問5) 提案書には構成員数は14人と記載されているが、会費収入の内訳では児童・生徒の数は11人となっている。その差について聞きたい。

(回答) 構成員は9月1日現在、全部で14人。指導員3人、小学生5人、中学生6人である。10月より1人増え、現在は15人で活動している。中学生は卒団生であり、部活動での練

習もあるため、学業に影響が出ないよう時折練習に参加している。スポーツ少年団を対象とした全国大会の予選があり、中学生はその大会等に出場するため、保険料と登録料のみの負担をお願いしている。そのため、小学生よりも会費が少なくなっている。

(質問1：新型コロナウイルス感染症の拡大による影響についての共通質問 ①) 今年度の提案書に記載する事業内容に、どのような影響があるか(あったか)。実施の可否や中止が決定している事業等について聞きたい。

(質問2：新型コロナウイルス感染症の拡大による影響についての共通質問 ②) 「収入額」及び「支出額」について、費目ごとの見通しを具体的に聞きたい。

(回答) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年の活動である会員のための体験会・合宿を中止せざるを得なかった。また春から夏にかけての大会・遠征会がすべて中止となった。10月よりガイドラインに沿った大会が再開されているのだが、提案書に記載した大会のほとんどが中止となっている。11月1日の全上越大会、11月の柏崎の大会、12月の浦川原の大会が中止となったため、提案書の収支よりも1万5,000円の減と予定している。2月、3月の大会は未定である。形の大会や全国大会の予選会、選考予選会が予定されている。

(質問3) このたび地域活動支援事業に提案された理由を聞きたい。また、当初募集ではなく追加募集で提案された理由を聞きたい。

(回答) 活動継続のための課題があり、団員数の減少、つまり収入減、指導者不足で、個に応じた指導が厳しい現状となっている。予算については、収支決算では赤字となっており、年々繰越金を削りながら何とか運営している。指導者も3人いるため「十分にできるのではないか」と思われがちだが、小学1年生から手取り・足取り指導しなければ、剣道は武道の中でもなかなか難しい。特に、利き手ではない左手が中心の武道であるため、きちんと個に応じた指導をしたいということが願いである。それに当たり、今回の地域活動支援事業の追加募集を団長が知り、活用したいと思い、今回提案した。課題改善のために事業を提案した次第である。

(質問6) このたびタイマーと打ち込み台の購入が必要になった理由を聞きたい。また、会場費、大会参加費、昇給審査や卒団式の運営費については、これまで会費で賄ってきたと思うが、このたび補助金を活用することとした理由を聞きたい。

(回答) タイマーを購入し、稽古を効率化するとともに、メリハリをつけ、子どもたちが充実した稽古ができるようにしたい。そして打ち込み台は、子どもに打たせ、その

横で指導者が支援をしたり、打ち込みを強くするために手を添えて打たせたりできるようにするため、購入したいと考えている。今現在のメンバーは、細々とだがみな仲良く、そして普段は結構にぎやかなのだが、稽古が始まるとビシッとして頑張っている。

【太田会長】

今のプレゼンテーションの中に、6つの質問事項の回答も含まれていたと思う。回答について、または関連質問等ある委員の発言を求める。

【田中副会長】

質問6のタイマーと打ち込み台が必要となった理由と関連し、タイマーと打ち込み台の保管場所を確認したい。

【春-追1 提案者】

近年、子どもたちの習い事が多種多様になってきている。剣道については、スポーツ中継がほとんどないような状態であり、子どもたちは馴染みがなく、保護者も顔が見えない。また、練習がきついのではないかとのイメージがあり、ここ10年くらいはだんだんと団員が減ってきている。今回、3月・4月に子どもたち4人で練習を始めたのだが、当初は体育館の鍵の開け閉め、また稽古の合間にタイマーで時間を測って笛を吹く当番を、4人の保護者に週に2回ずつ担当してもらっていた。だが、中には、他にも子どもがおり、練習中にどうしても自宅に戻らなければならない保護者もいた。そのため時間通りに進まないこともあり、タイマーを指導者が操作すれば、それで事が足りると考えた。保管場所については、可能であれば春日小学校の用具入れに保管できるよう、お願いしようと思っている。

【田中副会長】

活動場所は、春日小学校・高志小学校・春日中学校の3か所なのか。

【太田会長】

活動場所は春日小学校と提案書に記載がある。他に質問等あるか。

【渡部委員】

打ち込み台とはどのようなものか。また、タイマーは機能等、いろいろとあると思うが、購入を考えているものはどのようなものか。

【春-追1 提案者】

タイマーのサイズは普通のテレビくらいのものであり、操作することによって時間

が出る。よくテレビの柔道の試合等で使われているタイプである。

【太田会長】

提案書に写真も添付しているため、それを参考にしてほしい。

【渡部委員】

打ち込み台はどのようなものか。

【春-追1 提案者】

打ち込み台は鉄でできており、その上に面や銅をつけて練習する。マネキンのような感じである。

【渡部委員】

例えば満額採択ではなかった場合に、もう少しレベルの低いものに変更して購入することはできるか。

【春-追1 提案者】

かたちだけのものになり、ちゃんとしたものではなくなると思う。安全等の基準を考慮したもので、業者より見積を出してもらった。

【太田会長】

他に質問等あるか。

【吉田 実副会長】

今ほど、人数が減ってきたとの説明があった。団員が減ってきたことにより、時間になったら笛を吹いて合図等する人員が確保できないため、タイマーで人員をカバーすると自分は受けとめた。打ち込み台の場合、人数が多かった時はよかったが、団員数が減って立ち会いで練習ができないため、打ち込み台等を使用しなければ、練習効果は上がらないということか。

【春-追1 提案者】

打ち込み台を使用するのは、ほとんどが初心者である。練習で指導者が面をつけて打たせても、指導者は正面しか見ることができない。だが、打ち込み台を使用して練習をすることができれば、どこからでも見ることができ、子どもの欠点が分かってくる。また、子どもも動きやすいという利点がある。これまでも欲しかったのだが、我慢して練習してきた状態である。

【吉田 実副会長】

伝統があり、30年以上活動してきているため、これまでは打ち込み台を使用せずに、

いろいろと工夫して練習してきたということか。だが今回、支援事業を活用したいという意味で受け止めてよいか。

【春-追1 提案者】

そうである。

【鷺澤委員】

先ほど、中学生の人数が6人との説明があった。その際、中学生は部活動があるため、スポーツ少年団では全国大会へ出場することが目標とあったが、どういうことか。中学校で部活をし、なおかつここにも参加しているということか。その目的は何なのか。

【春-追1 提案者】

中学校の部活動だけでは本人が足りないとの思いで、卒団した子どもが時々顔を出すということである。目的としては、中学校の部活だけではなく、もっと稽古をしたい子どもたちが来ている。またスポーツ少年団の大会は、中体連の大会とは違い全国に行くチャンスもある。それにチャレンジするために、スポーツ少年団の大会には出ている。今年は佐渡での開催を予定していたのだが、中止となってしまった。その大会の参加料としても会費として徴収している。

【太田会長】

卒団した中学生については、練習中の怪我に備えた保険料と、スポーツ少年団の大会参加の登録料のみと解釈してよいか。

【春-追1 提案者】

そうである。

【太田会長】

他に質問等あるか。

(発言なし)

時間も過ぎているため、質問を区切りたいと思う。後ほどの意見交換の場で、改めて確認したいと思う。

春-追1を終了する。

— 提案者退席、次の提案者入場 —

【春-追2 提案者】

- ・「春-追2 高志地区 安全・安心見守りパトロール事業」についてプレゼンテーション

・個別質問への回答

(質問3) 提案書に記載されている各種活動について、活動計画や実施方法を具体的に聞きたい。

(回答) 事業内容については、提案書に記載している5点になる。順番に説明する。

初めに事業①「自宅前防犯協力運動」、事業②「ながらパトロールの推奨と実施」である。以前に吊り下げ名札ケースや防犯キャップ、防犯ステッカーを配布した。子どもの登校時間に、意識的にごみ出しをするようお願いをしている。できることであれば、子どもたちに「おはよう」「いってらっしゃい」と声かけもお願いしている。また、低学年の下校時間が午後3時から4時くらいになるのだが、その際にも玄関の掃除等で家の前に出て、子どもを見守っていただいている。この時も、できるだけ「おかえり」「こんにちは」の声をかけていただいている。また、自家用車に防犯ステッカーを張って走行してもらえるようお願いし、やっていた。

次に、事業③「交差点やT字路における立哨見守り活動」、事業④「通学路パトロール」についてである。子どもの登下校に合わせて交差点やT字路等で立哨するほか、子どもと一緒に登下校等していただいている。子どもを見守るだけではなく、歩きながら危険箇所はないか、不審な人物はいないか等、確認していただいている。

最後に事業⑤「積極的な広報活動」として、「高志見守り隊通信」を作成し町内の回覧板で周知している。また各町内にのぼり旗を配布して、高志見守り隊の存在の周知と啓発活動につなげている。

(質問1：新型コロナウイルス感染症の拡大による影響についての共通質問 ①) 今年度の提案書に記載する事業内容に、どのような影響があるか(あったか)。実施の可否や中止が決定している事業等について聞きたい。

(回答) 事業の①から⑤に関しては、中止等の事業はない。予定通り実施している。

(質問2：新型コロナウイルス感染症の拡大による影響についての共通質問 ②) 「収入額」及び「支出額」について、費目ごとの見通しを具体的に聞きたい。

(回答) 収入について、学校区には9町内あるのだが、世帯数に応じて会費を徴収しており、合計144万7,200円になる。前年度の繰越が8万9,193円で、預金利息と合わせると、153万6,396円になっている。次に、9月末までの支出については事務費、会議費、教育費等、提案書に記載しているとおりである。合計124万7,266円を支出している。差し

引きすると、現在の残高が28万9,130円である。これは9月末の残高である。

(質問4) 子どもの安全・安心を守る活動は、保護者はもとより地域にとってもたいへん重要であるとの考えから、貴団体の事業として予算付けし、補助金だけでなく自主財源も組み込みながら実施する考えはないか。

(回答) 残金はこれだけあるのだが、まだ10月以降の各学年の活動補助の見込みが残っており、また今年度は、新型コロナウイルスの感染症対策で体温計や消毒のアルコール等の支出分の増加が見込まれる。今後もまだ補充しなければならないため、後援会費より捻出している。また、施設の老朽化により、カーテンや校内の廊下の床板がかなり損傷しているため、補修・修繕の見込みで後援会費を使いたいと考えている。子どもの活動を制限する、新型コロナウイルス対策、環境修繕等を調整すれば、多少の余裕が生まれると思われる。しかし、まとまった金額を支出する予算付けをすることは、現段階では難しいと考えているため、できることであれば補助金をいただきたいと考えている。

【太田会長】

回答について、または関連質問等ある委員の発言を求める。

【鷲澤委員】

保護者が緑のベストを着てパトロールしている姿も見られ、各町内の代表者がオレンジのベストや帽子等を着用して子どもたちの見守り活動・パトロール等を行っている。さらに、春日地域青少年育成会議が挨拶運動等いろいろな活動を行っているため、ベストを着用している姿を頻繁に見ることがある。今回新たに、ベストを105着、のぼり旗を9町内に配布するということだが、現在活動をしている団体以外に、具体的にどのような活動をしようとしているのか教えてほしい。例えば、春日山町1丁目から3丁目の町内会では、年間の当番を決めて防犯パトロール活動を行っている。そういうことであればよく分かるのだが、この見守り隊では具体的にどのような活動をやろうとしているのか分からない。そういった点で、もう少し具体的に詳細な説明がほしい。

もう1点、提案書では9町内に「ベスト5着ずつ、のぼり旗10本ずつ」といった記載がある。9町内でも大きい町内・小さい町内があると思う。木田町内会は、約1,650世帯、約3,500人がいるがのぼり旗は9本で、小さな木田新田でも9本である。この本数の割り当て等について、何か引っかけることがある。具体的内容と本数の配分について教えてほしい。

【春-追2 提案者】

毎日当番で2人ずつ、下校時に子どもと一緒に帰ってもらう際にPTAの緑色のベストを着用しており、PTAの方々より大変協力いただいている。それはPTAの活動として、単独で行っているもので、別の団体であるため、今回の内容とは区別している。次に、各町内でもベストを着用して見守り活動を行っており、大変助かっている。各町内でもしっかりと活動しているのだが、今回提案しているベストは各町内にあるものとは違う。高志小学校の名前と校章を入れ、9町内で一致団結し、高志小学校をベースとして地域一体になって盛り上げていきたいと考え、このようなベストを提案した。次に、町内ごとに偏りがあるのではないかということについては、確かにそうである。木田町内会は1,500世帯もあるため、5着では足りないかもしれない。平均的に5着としているが、会費の関係もあるため町内会長と相談をしながら割り当てを決めていきたいと考えている。

【鷺澤委員】

最初に質問をしたのだが、年間を通じて見守り隊がどのようなシステムで活動しようとしているのか、その具体的な内容をもっと詳しく聞きたい。PTA活動やその他、青少年育成会議等は分かっているため、この見守り隊が新たにどのような活動をして高志小学校の子どもたちを守っていこうとしているのか、具体的な活動内容を教えてほしい。

【春-追2 提案者】

例えば、登下校のパトロールは各町内で行っていると思うが、それを1つにまとめていきたいと考えている。また、各町内で行っているため、同じではないかと言えばそれまでなのだが、高志小学校後援会として、小学校・地区・学区を全て合わせて、それぞれに声かけを行い、各町内会長に働きかけながら1つになって進めていきたいとの想いで進めている。

【太田会長】

自分から補足で質問する。具体的な例、考えとして、例えば、各町内でどういう人が、どういう時に活動するのか。各町内にベストを5枚ずつ配布するのであれば、当番制のようなかたちになるのか。それともできる人が任意に任意の時間で行うのか。できる・できないは別として、どのような計画で行いたいのか、もう少し具体的なことを鷺澤委員は聞きたいのだと自分は受け取った。

【鷺澤委員】

そうである。他の団体とかぶらないような、例えばもっと回数を多くして、緻密に子どもたちを守っていくといった、具体的な活動内容を教えてほしい。ぜひ応援したいとは考えているのだが、具体的な内容が分からないため説明願う。

【春-追2 提案者】

各町内何人ずつ、どこに何人立哨してほしい、何人来てほしいといった細かい計画を立てることができればよいと思うのだが、町内によっても出られる人・出られない人がいる。そのため今のところは各町内に呼びかけて、現在、立ってもらえる・安全パトロールに参加できる人を集約しているところであり、今のところ、はっきりと「この町内から何人」という具体的な数字は設定していないのだが、各町内の町内会長と話をしながら進めていきたいと考えている。

【太田会長】

プレゼンテーションへの参加者は後援会の事務局であるため、後援会長や後援会の理事の皆さんに、今回プレゼンテーションで質問があった内容を伝え、採択された場合には、もう少し具体的なかたちで進めてもらえればよいと思う。

それと、1点だけ自分より確認させてほしい。今回、満額または一部減額にて採択されて購入ができたとしても、この後維持管理をしていかなければならないと思う。今年度は予算組みをしていないと思うのだが、来年度以降の維持管理や、ベストやのぼり旗を増やしていくことを、地域活動支援事業だけではなく自主財源の中でも拡大していく予定はあるのか。

【春-追2 提案者】

やはり、のぼり旗等は消耗品であるため結構老朽化が激しく、2年程度でボロボロになってくる。現在、立てているものも破れてきているため、少しずつ買い替えて新しいものしていきたいと思っている。そういった維持管理もしっかりとしていきながら、大事に使っていききたいと思っている。後援会予算も少しずつ見直しを行い、後援会費等で支出できる部分は支出していきながら、今後も活動を継続していきたいと考えている。

【吉田 義昭委員】

PTAと後援会の違いがよく分からない。今ほどの説明を聞いていると、町内会で行うこと、PTAで行うことで活動に差があるようだが、分かりやすく説明してほしい。

【春-追2 提案者】

PTAは在籍している小学生児童の保護者が母体となっている。つまり、子どもが卒業すればPTAではなくなる。在校生の保護者からの予算で活動を展開している。後援会はもう少し広く、保護者だけではなく、地域住民も含めた地域全体で高志小学校を支えているとの違いがある。

【吉田 義昭委員】

PTAのベストはどうやって購入したのか。

【春-追2 提案者】

PTAでは、PTA会費で「PTA」と入っているベストを作り、保護者が使用している。

【渡部委員】

春日地区には春日地区防犯協会がある。防犯協会も春日小学校区・高志小学校区とある意味では2つの大きなくくりとなっている。このような活動を行う際は、ぜひとも防犯協会等に相談してほしい。自分はこの活動に反対ではなく、基本的には賛成である。だが、この活動に効果があるということになれば、当然、春日小学校区にも展開できると思う。ただ先ほど鷺澤委員の発言にもあったように、何となく活動がはっきりとしておらず、失礼な話だが「ベストが足りなくなったから欲しい」という感覚しか見えない。後援会としてやること、PTAとしてやることと、活動内容をはっきりとして、そして全体での活動は春日地区町内会長会等と相談をして進めていってほしい。

【春-追2 提案者】

まだ始めたばかりであり、手探りなところもある。経験を積み上げながら、もう少し組織的にしていき他にも広めていけるよう、かたちを作っていきたいと考えている。

【太田会長】

他に質問等あるか。

(発言なし)

春-追2を終了する。

— 提案者退席、次の提案者入場 —

【春-追3 提案者】

- ・「春-追3 中学生の音楽による地域の絆づくり支援事業」についてプレゼンテーション

・個別質問への回答

(質問1：新型コロナウイルス感染症の拡大による影響についての共通質問 ①) 今年度の提案書に記載する事業内容に、どのような影響があるか(あったか)。実施の可否や中止が決定している事業等について聞きたい。

(回答) こちらの映像を確認してほしい。この映像は、本来であれば今年8月に行われる予定であった謙信公祭で、吹奏楽部が演奏する予定であった「天地人」という曲の練習の様子である。58人が在籍している。これだけの大人数であり、上越市内の中学校吹奏楽部では1番人数が多い吹奏楽部となっている。この曲は毎年、生徒が演奏している曲であり、生徒は本当に地域で演奏することを楽しみにしていたのだが、中止となってしまい大変に残念に思っている。

その他、第14回いきいき春日野ふれあいコンサートも中止となった。このコンサートには、第1回から参加していると顧問や地域の人より聞いている。小学生や大学生、地域の人と、音楽を通じて交流できる大切な機会であるが、これも中止となってしまい大変残念に思っている。

また各町内会、木田町内会の敬老会にも、例年、招かれて演奏していたのだが、それも今年は演奏がなかった。

だが校内では、現段階では11月に行われる合唱祭や定期演奏会で演奏の予定となっている。来年度は、地域住民とともに演奏会ができることを願っている。

(質問2：新型コロナウイルス感染症の拡大による影響についての共通質問 ②) 「収入額」及び「支出額」について、費目ごとに見通しを具体的に聞きたい。

(回答) 提出した予算案から変更等はない。例年どおりの会計となっており、大型楽器、高額な楽器を買う余裕は全くない状況である。

(質問3) 過去10年間程度の間、楽器の購入状況(品名、購入年度、数量、金額、費用の負担方法)について、分かる範囲で聞きたい。可能であればリストを提出願いたい。

(回答) 先日リストを提出しており、そのリストのとおりである。平成24年度にも地域活動支援事業でたくさんの楽器を揃えていただいた。金額的には約500万円と引き継いでおり、現在でも大切に使用している。また全校生徒の各家庭より年間1,500円ずつ集金する楽器維持費や、吹奏楽部の保護者会費からも少額の楽器を購入している。教育委員会でも楽器を購入できる制度があるのだが、やはり部活動よりも授業を優先されるため、教育委員会の予算では楽器を購入することができない。

(質問4) これまでの楽器の修繕の状況(金額、負担方法)について、分かる範囲で聞きたい。

(質問5) 今後の楽器の購入及び修繕の見通しについて聞きたい。

(回答) 先ほども説明したが、楽器維持費は吹奏楽部の保護者会費より支払っている。例年、80万円から100万円ほどかけて修繕をしている。年1回、楽器店に楽器の状態をチェックしてもらっているのだが、買い替えたほうがよい楽器や修理が必要な楽器が半数以上を占めている状況になっている。修理が必要な楽器が多いため、演奏に支障があるものから順に修理をしていく予定である。楽器1台につき、数千円から数万円かかる。修理をしなくても演奏はできるのだが、やはり修理をしたほうがよい演奏になることもあるため、修理をしていく。

また、購入については、それほど高額ではないフルートまたはサックスの購入を予定している。高額な楽器を買い替えたいのだが財源がない。そのため、ぜひ支援いただきたいと思っている。生徒の様子を見てみると、新しい楽器や自分の楽器には愛着を持って、笑顔で演奏していたりもする。本当に楽器を大事に扱っていると思う。

また、新型コロナウイルスの影響により、今まで当たり前できていた活動ができなくなっており、春日中学校では、5月いっぱいまで部活動を停止をしていた。6月によりやく部活動を再開した際には、みんなで合奏ができただけでも幸せに思っていた。なかなか演奏を聞き合う機会がない中ではあるが、来年のいきいき春日野ふれあいコンサートは実施予定であると嬉しい話も聞いている。この事業は、学校と地域をつなぐ大切な活動の事業だと思っている。

【太田会長】

回答について、または関連質問等ある委員の発言を求める。

【田中副会長】

部員が58人との説明があったが、当日配布の追加資料「購入楽器一覧」の中では購入台数が21台となっている。この差は平成24年よりも前からあった楽器と考えてよいか。

また今回、オーボエとサックスの購入を希望している。自分の記憶では、オーボエのリードは結構金額が高く、しかも長くは使えないと思う。確か、1枚1万5,000円程度だったと思う。オーボエの購入を希望している段階で、その経費を学校側はどのように見ているのか。少し不思議に思ったため、楽器を選んだ理由を教えてほしい。

また、他にもリードを使用する楽器が結構あると思うのだが、使用しているリードは自己負担なのか、学校が用意しているのかを教えてください。

【春-追3 提案者】

オーボエについては、楽器店に相談したところ、真っ先にオーボエを買い替えたほうがよいと言われた。リコーダーにたくさんの部品が付いているような楽器であるが、見積りにあるとおりの高額であり、なかなか保護者会費や楽器の予備費・修繕費では購入ができない金額となっている。そのため、高額な楽器の支援を希望している。

また、リードは演奏するために必要な消耗品であるが、こちらも先ほど説明した楽器維持費や保護者会費の中で賄っている。修理代もあるのだが、リードの購入代が嵩むと修理費にかけられる金額も減ってしまう。そのためリードは、楽器維持費や保護者会費から賄っている。ちなみに、見積額はリード代を含まずに計算している。

【田中副会長】

現在、オーボエは何台あるのか。

【春-追3 提案者】

現在、ちゃんと使えるものが2台あるのだが、古い。

【田中副会長】

普通に考えると、オーボエに関しては「1台あればよい」と考えると思う。高額であり、演奏も難しい。それを承知の上で、3代目の購入を希望しているということか。

【春-追3 提案者】

3台目が欲しいというよりも、2台のうちの1台を廃棄して、もう1台を購入したいと考えている。なぜ2台かというと、非常に部員数が多いため、自分もなかなか基礎的なところまで教えることが困難である。そのため、3年生がいる時に、1年生の新入部員を育ててもらいたいということがあり、どうしても2台でお願いしたい。そのうちの1台を買い替えたいと考えている。

【太田会長】

他に質問等あるか。

【鷺澤委員】

部員が58人とのことで、非常にたくさんの楽器が必要になってくると思う。楽器の充足率がどのような状況なのか教えてください。

次に小学校では吹奏楽部ではなく音楽部だと思うのだが、入りたいという希望者が

どんどん増えていると思う。そのために、今後も楽器を少しずつお願いしたいとの話があったが、春日中学校吹奏楽部の部員の増加率はどうなっているのか。

次に、それに応じた今後の楽器の購入予定について教えてほしい。説明を聞き、毎年80万円から100万円ほどの修繕費がかかっていると聞いて驚いた。それほど修繕費がかかるのであれば、楽器の購入は一体どうするのかとの気持ちになった。

【春-追3 提案者】

楽器が古いため、やはり壊れやすく、それだけ修理費が嵩んでいる。そのため、ぜひ楽器の買い替えをしたいと考えている。楽器の充足率については、今いる部員には一応1人1台、楽器が割り当てられており、ある程度、楽器から音は出ている。ただ、やはり古いものやへこみがある楽器もあるため、音が出しにくく技術を習得するには少し厳しい楽器を使用している生徒も、正直なところいる。そのため、ぜひそこを支援していただきたいと考えている。

次に、部員数の増加率については、大体、1学年20人前後が毎年入部をしている。また、ありがたいことに小学校も楽器購入の支援を受けていると聞いている。今年の1年生も、小学校での経験者が何人も入部している。今後も、学年によって波はあるかと思うが、毎年20人前後の入部があると見込んでいる。

次に購入予定についてである。今年度は、フルートとサクスを購入したいと思っている。しかし本心をいうと、1番買い替えたい楽器はオーボエであるのだが、その財源はない。また可能であれば、また来年度も提案したいと少し考えているところである。

【本多委員】

毎年、維持費に多額の苦勞をしていると思う。部員は1年生から3年生までの3年間、同じ楽器を使用するということか。

【春-追3 提案者】

やはり、3年生が1番状態のよい楽器を使用しているため、3年生が引退すると2年生が、2年生が使用していた楽器を1年生が使用するといった使い方をしている。

【本多委員】

それを踏まえて、例えば、道具は個人で持つと、自分の好きなものはものすごく大事に使うと思う。やはり団体から与えられたというか借りているものは、意外と粗雑になりがちだと思う。今ほどの説明にへこんでいる楽器があるとあったが、どこかに

ぶつけてへこむ、演奏していてもへこむ訳ではない。そのため、やはり管理について厳しく指導していただきたいと思う。厳しいとの表現はおかしいのだが、どんな道具でも粗雑に使用すればすぐにだめになってしまう。しっかりと管理して、維持費をできるだけ削減できるよう、努力していただきたいと思う。中学生の吹奏楽で使用する楽器は高額なものが多い。小学生の金管とは違う。毎年、100万円も修繕費がかかっていると知り驚いている。そういった努力していただけるよう、要望したいと思う。

【春-追3 提案者】

再三、生徒には話をしている。また本日、地域協議会の場でプレゼンテーションのすることも、実は生徒に伝えている。「これだけ地域の人から支えてもらっているのだから、大切に扱ってほしい」ということは、かなり繰り返して説明している。今後とも指導を続けたいと思う。

【太田会長】

春-追3を終了する。

— 提案者退席 —

以上で次第3 議題「(1) 協議事項」の「① 地域活動支援事業（追加募集分）の審査に係るプレゼンテーション」の「2) プレゼンテーション」を終了する。

— 休憩 —

【太田会長】

会議を再開する。

次に次第3 議題「(1) 協議事項」の「② 地域活動支援事業（追加募集分）の審査に係る意見交換」の「1) 今後の進め方の説明」について、事務局より説明を求める。

【藤井係長】

・説明

【太田会長】

事務局の説明に質疑を求める。

(発言なし)

では意見交換を始める。追加募集には3つの提案があった。質問の回答も含め、共通認識として進めていきたいと思う。

最初に「春-追1 春日地区青少年剣道育成事業」についてである。何か意見等あるか。

【田中副会長】

当初募集で採択されたスポーツ団体との整合性をもって評価するということがよいのか。追加募集でも、当初募集と同じ気持ちで考えてよいのか、今回は今回として考えるべきなのか、評価にするに当たって教えてほしい。

【太田会長】

事務局より補足願う。

【藤井係長】

基本的に、当初募集と追加募集ではルールを変更したわけではないため、同じ考え方・基準で見てほしいと思っている。

【渡部委員】

例えば減額となった場合、購入するか・しないかという話になるのか。要は、満額採択となった場合に購入したいとの思いで提案してきていると思う。しかし当初募集との整合性を取るために減額とした場合、楽器であれば高額なものの購入を諦めるのか、それとも採択された金額で購入できるものに変更することができるのか確認したい。

【吉田 実副会長】

オーボエが1番、アルトサクスが2番と優先順位がある。

【渡部委員】

単純に、採択額が希望額よりも低かった場合はどうなるのか。

【太田会長】

事務局より補足願う。

【藤井係長】

採択額が減額となった場合には提案団体側で不足する分を埋められるか・埋められないか、その判断になると思う。そのため、不足分を自己負担できない場合には、取り下げとなることもあり得る。

【渡部委員】

採択額内で、他のものを購入してもよいのか。

【太田会長】

提案以外の他のものの購入はだめである。

【藤井係長】

審査時の決め方、決めた理由による。金額を「これだけ」ということで楽器を指定

しなければ問題ないが、楽器を指定した場合には認められない。

【太田会長】

「春-追1」の中央剣道スポーツ少年団についても、タイマー、打ち込み台で提案と見積りが出ているが、ここまでの金額が出なかったため、例えば他のものを購入するということは、やはり今回の提案に反しているため認めることはできない。

【渡部委員】

同じ商品でもいろいろな金額のものがあるが、見積とは違う、安い商品を購入することは可能なのか。

【太田会長】

それはだめだと思う。

【藤井係長】

例えば、提案書の添付資料に約4万7,000円の「タイヤ打込台」が掲載されている。仮にこの「タイヤ打込台」だけ採択した場合、採択時にこの「タイヤ打込台」でなければならないという決定であれば、変更はできない。協議会の決定に指定がなければ、内容により相談し、協議会に報告するということもありえる。

【太田会長】

減額となった場合には提案者と相談をして、目的を変えないで、同じ内容のものであれば購入は可能といったかたちである。

【渡部委員】

時間をとって申し訳ないのだが、もう1点、剣道の関係で確認したい。時間がなかったから質問しなかったのだが、中央剣道スポーツ少年団への所属している団員は、上越市全域から来ているのか知りたい。

【太田会長】

メンバーは高志小学校・春日小学校の児童のみで、プレゼンテーションの中でも話していた。

【渡部委員】

他地域の子どもではないのか。

【太田会長】

他地域ではなく、春日小学校と高志小学校の児童、また中学生は春日中学校に通うOBが練習に来ているとの説明があった。他に意見等あるか。

【谷委員】

今ほどの「打ち込み台」についてである。購入を計画している「打ち込み台」の写真が2通り出ている。もし減額された場合には、申請したものから安い打ち込み台に変更することは可能なのか。

【藤井係長】

例えば、提案された「打ち込み台」が6万2,000円、提案書の写真にある「タイヤ打込台」4万7,000円である。仮に、提案のあったものを全額補助するのではなく、「一部は自己負担してほしい」と決定したとする。その場合、減った補助金の額内で「タイヤ打込台」を購入できるとしても、地域協議会で決定したことは「一部、自己負担してください」ということであるため、単純に物品を変更するだけでは認めることはできず、自己負担をしてもらわなければならない。決め方によって変わってくると思う。

【太田会長】

次回の採択の際に、減額の条件として「団体の自主財源を確保してください」となれば、変更することは認められないということでしょうか。

【藤井係長】

そうである。

【太田会長】

一部負担となるのか、提案の「打ち込み台」に関しては「これだけ補助する」となるのかは、次回の採択の際の採択の仕方・条件により、内容や条件が変わってくるとの解釈でよいと思う。

【田中副会長】

先ほど、「打ち込み台」を小学校の用具室のようなところに置いてもらおうと話していた。当初募集の際にもあったと思うのだが、事前に調整・確認する必要はないのか、気になった。

【藤井係長】

仮に採択された後で「置く場所がなくて買えない」ということがないように、次回までに方向性を示してもらえるように提案団体に確認したいと思っている。

【太田会長】

他に意見等あるか。

(発言なし)

今ほどの意見やプレゼンテーションでの質問事項の回答を含め、採点をしてほしい。

では次に、「春-追2 高志地区 安全・安心見守りパトロール事業」に移る。何か意見等あるか。

【本多委員】

どちらかというと、PTAは下校時専門で活動をしている。だが、この「見守り隊」は朝の活動である。交差点等の危険箇所に立って見守り活動をしている。PTAではなく、毎日参加することのできる定年となった年配の人が出ている。活動時間が違うため、それを一緒に考えてしまうとおかしくなってしまう。それらを統一してできるのかとの話になればよい。提案者の話では「やっている」と言っていたが、同じ時間帯でダブル活動しているわけではない。確かにグリーンのベストを着た保護者が、子どもたちの後ろを話しながら歩いている姿を見かける。逆にいうと、これで事故が起きたら大変だと思いながら見ている。自分が当番だから一緒に歩いているとの感覚だと思う。本当に子どもたちの危険を考えると、もう少し真剣に活動してもらえればと思う。

「見守り隊」というが、本当に学校が道路交通を守っているのかは心配がある。自分が役員の際、「ここは危ないから左側通行する」と言われた。道路交通のルールで左側を歩いてよいはずはないのだが、いまだに改善等されていない。学校が基本的なルールを守りながらやらないといけないと思う。

蛇足だが、木田新田から藤巻に追分地蔵のあるT字路がある。この交差点が危ないからといって、藤巻の子どもたちが左側通行で下校している。これを学校が指導していて、もし事故があった場合には学校の責任となってしまう。やるのであれば、やはり基本的なところからやらなければいけないと思う。一方は一生懸命活動していて、もう一方は自分たちの決め事だけで活動しては、非常にうまくないと思う。やるのであれば、そういったことを正しながら、活動してほしいと思う。通ってもらえば分かるのだが、子どもたちは皆、左側を普通に歩いており、それは学校の指導である。子どもたちが間違えて左側通行しているのではなく、学校で「左側を歩いて帰きなさい」と指導している。これは100パーセント間違いである。そういったことを自分たちもしっかりとしなければいけないと思う。学校がやはり道路交通について正規の指導をしなければ、何のための交通指導かとなってしまう。いくら「見守り隊」といって自分たちが頑張っても、基本的なところを間違っていたのでは何の意味もないと

思った。

【市川委員】

提案者の補足ということではないのだが、下校時の左側通行・右側通行については、集団下校をする中で学校も町内ごとに危険箇所を把握して子どもたちに教えている。集団下校時に付いている町内の人も、おそらくそれを話していると思う。自分の新光町の場合には、集団下校時に付いているのだが、「ここは危ない」「ここはだめ」「この川はだめ」という話をしており、学校側も地域住民に危険箇所等を聞き取る時間を取っており、その中で話している。各町内でもおそらく同じようにしていると思う。今ほどの本多委員の発言にあったように、左側通行云々との話は、おそらく集団下校時にもしていたと思う。しかし、まだ改善されていないようであれば、町内会でいろいろと話をさせていただきたいと思う。

またPTAの活動については、先ほどの提案者の説明にもあったように、学年ごとに2人ずつ組んで「今日はここ」「今日はあそこ」と各町内に回っている。

「見守り隊」の活動については「朝だけではないか」との話があったのだが、先ほど提案者も首からぶら下げていた吊り下げ名札が各家庭に全て配布してある。新しい住宅ができれば、町内会長が持って行っている。下校時間については、下級生を中心に見守るようになっている。玄関前に出て「おかえり」「帰ってきたね」「大丈夫だったか」と声かけするようにしている。帽子やベストを着用して見守りをするのは朝だけかもしれないが、下校時間はそのような活動をしている。

また、帽子・ベストを各町内会に5着ずつとの説明もあったのだが、確かに、木田町内会や新光町町内会町は大きな町内会であるため5着では絶対に足りないと思う。先ほどの提案者の説明にもあったように、それはまた、高志小学校地区町内会長会の中で話し、譲れる町内会、欲しい町内会で調整することになると思う。

くどいようであるが、朝、木田の高志小学校入口交差点のところに毎日立っている人がおり、本当に頭が下がる思いである。木田の町内会長や藤巻の町内会長、他にも皆さん一生懸命に立って頑張っているため、そこはやはり見て、声をかけるような気持ちを持っていただければよいと思っている。

PTAと二重になっているという話については、現在PTAは下校時のみである。それも班を決め、学年ごとに担当を決めて行っており、会社勤め人も当番の日には休みを取って参加している。

【太田会長】

高志小学校の下校時のパトロールは、春日小学校を参考に始めたと聞いている。自分も朝、仕事に向かう際に藤新田の踏切等で町内の人がオレンジのベストを着て立ち、登校の指導もしている姿を見かける。こういったことは大事なことであるため、もう少し具体的などころも見えるようにしながら、パトロール事業も頑張ってもらえればよいと思っている。他に意見等あるか。

【渡部委員】

自分が誤解しているのかもしれないのだが、「見守り隊」といっても、いろいろと話を聞いていると交通安全に関することが多いと思う。自分が交通安全の関係の役員をしている交通安全協会春日支部では、年配者の理事が多く、交通指導をしても危なくて仕方がない。旗を持っていけば道路の真ん中まで行ってもよいといったつもの人が多いため、交通安全協会春日支部では理事に「立哨、指導はしなくてよい」と言っている。横断歩道の真ん中まで旗を持って入ることは、道路交通法の違反である。誰でもよいので、立哨してくれる人によく指導をして欲しい。先日、高志小学校近くの交差点を見たのだが、非常に一生懸命活動しておりありがたいと思った。全く横やりを入れるつもりはないのだが、本当に危ない。車で走行する人が気を付けており、着用しているベストも反射するため抑制になっているかもしれない。しかし道路へ出ではだめである。何を購入してもよいと思うのだが、正しく使って欲しい。そういう意味で、先ほどの鷺澤委員の発言にあったように、計画等をはっきりしないと危ないと思う。

【本多委員】

渡部委員の発言は、もったもである。それこそ、けがをしては大変である。本人はよかれと思って道路の真ん中まで出ていると思うのだが、車両は曲がることができない。やはり、やるからには基本的なことを守ってほしい。好き勝手に行動してしまうと、子どもたちは安全かもしれないが、逆にいうと、大人にはものすごく危ない行為になってしまう。しっかりとしたほうが、より安全に子どもたちも通学できるのではと思い発言した。

【吉田 義昭委員】

よい意見だと思うのだが、それはどこに頼めばよいのか。

【渡部委員】

例えば、町内会等でそういった指導等をして欲しいとの要望があれば、交通安全協会に話をしてもらってもよい。だが、交通安全協会の方が説明をするよりは、交番の警察官等のほうがよいと思う。そして、交通安全協会春日支部としては、交通安全教育や教室を行った団体等に対して、数千円程度のお礼をするシステムになっている。最近は新潟県内にも、漫談風に指導をしてくれる人もいる。すぐには無理であるが、1、2か月先であれば、交通安全協会春日支部に連絡をしてもらえば、例えば上部団体等に依頼して、人を紹介することもできる。しかし、講習等を行うにしても、やはり10人前後は集まってもらわなければ何となく元気が出ない。そのため、ある程度の人数を集めて欲しいと思う。去年は春日山町2丁目や岩木等でも行った。

【吉田 義昭委員】

悪い現象は皆気が付くが、どこがどのような手を打ち、どこに頼むといったシステムの流れが聞きたかった。

【渡部委員】

まず「見守り隊」等を行う際には、リーダーがしっかりと「交通規則を守って行ってほしい」と指導することが前提になると思う。

【太田会長】

「春-追2」が採択された際に、意見や附則として付けてもよいと思う。先ほどより出ている発言は、この会と関係はないのだが、多々見受けられるということであれば、春日地区で何かセミナーを開く等、この会とは別として、危なくないようなかたちにしてもらえればよいと思う。少し内容がそれてしまったため、内容を修正したいと思う。他に意見等あるか。

(発言なし)

次に「春-追3 中学生の音楽による地域の絆づくり支援事業」について意見等あるか。

【田中副会長】

最後に提案者が「小学校でも楽器を申請していますので」といった言葉が自分は少し気になった。楽器であれば補助金が出やすいと思われたのか、小学校が2校とも楽器を購入しているから自分たちも買いたいと思ったのか、提案者の胸中は分からないが、自分はその発言が気になった。

【太田会長】

自分としては、こういう時でなければ、高額な楽器を購入する機会がないため、支

援・応援をしてもらいたいとの思いが、あのような言葉になったのかと、個人的には感じた。他に意見等あるか。

【市川委員】

事務局に確認である。「春-追3」の参考資料に「所見一覧」がある。関係課等所見に記載されている内容は、どういうことなのか。以前にも、備品について質問したと思うのだが、備品台帳は整備されるようになっているが、事務局では見ていないと説明があったと思う。こういったことが、担当課所見として明確に出てきているとなると、備品台帳は非常に大切になってくると思うのだが。

【藤井係長】

参考資料は、学校業務を所管している教育総務課の所見である。内容としては、「学校で保管するものについては、所有者が明確に分かるように分け、適切に保管することが条件」ということである。事務局で備品台帳を見ることはないのだが、学校と提案団体との間で、きちんとこれを承知したうえで、台帳等をもって管理していくことが条件ということである。

【市川委員】

区分けはわかるのか。楽器は皆同じだと自分は思っているのだが、楽器ごとの場所等、所有している学校は分かると思うのだが、いざ何かあった際に、学校のものと事業主のものが明確に分かるような、何か印等はあるのか。

【太田会長】

今回「春-追3」に関しては、「楽器リスト」において、平成24年10月に453万4,000円分の楽器を地域活動支援事業で購入したということが明確になっていると思う。支援事業の補助金で購入した楽器が、学校側でも管理ができていればよいと解釈したのだが、どうなのか。当初募集で採択をした高志小学校・春日小学校に関しても同じことが言えると思うのだが、支援事業で購入した楽器については、いつ・どれだけ購入したということが学校側でしっかりと管理ができていればよいという意味だと思っている。これがもし学校側で「分からない」となれば、「管理はどうなっているのか」と指摘しなければ思う。参考資料の「購入楽器一覧」を見ると、購入時期や資金源等が管理できていると思う。そのため自分は支障がないと解釈した。

【市川委員】

自分は、そういった細かいことを言っているわけではなく、ただ、かなり高額な補

助金が地域活動支援事業から出ているため、学校・教育委員会・支援事業で購入したものの区分けができており、分かるようになっていれば全然問題はないと思う。ただ、いざ何かあった時に、紛らわしくはならないものかと、参考資料を見ただけではわからなかったため確認した。深い意味はないため、了承願う。

【本間センター長】

先ほど太田会長からも話があったとおり、きちんと管理がされているため、このような明確なリストが提出されたと思っている。事務局が学校の1つ1つの台帳を確認しているわけではないため、そこまで詳細なことは言えないのだが、太田会長の理解でよいと思う。

また、楽器に限らず事務局では、地域活動支援事業の補助金を活用したものについては、「地域活動支援事業を活用して購入した」といったことが分かるようシール等を貼ってほしい、そういう管理をしてほしいと話しているため、そういった管理がなされているものと思っている。

【太田会長】

他の事業にも言えることだと思うのだが、地域活動支援事業を活用して物品等を購入した団体は、管理台帳や管理番号等を付け、いつ・支援事業費で購入したということが分かるようにしてほしいと思う。これについては、また補足で記載すればよいと思っている。他に意見等あるか。

【吉田 義昭委員】

楽器の購入は、学校で購入するもの、保護者会費で購入するもの、支援事業を活用して購入するものと、3つほどに分かれているように思う。

【渡部委員】

学校で購入する場合もあるのか。

【太田会長】

学校で買えるものというのは、「学校の授業に使うもの」である。今回の事業提案については、学校の吹奏楽部の部活動のものであるため、学校の教育委員会の予算では購入することができない。当初募集の高志小学校や春日中学校の提案を採択した際にも同じような話が出たが、学校の音楽の授業で使用する金管楽器ではないため、教育委員会の予算では購入することができない。そのため、後援会費や保護者のPTA会費等で賄っていくことしかできないということが現状だと思う。

【吉田 義昭委員】

今回の提案は、高額なオーボエを更新するとの説明があった。現在も所有してはいるのだが、古くなってきたため新しいものに更新したいと話していた。だが高額であるため地域活動支援事業を活用したいということだと思う。そのような解釈でよいか。

【太田会長】

自分もそのように解釈している。高額であり、部費や保護者会費ではなかなか購入ができないため、地域活動支援事業で支援してほしいということだと思っている。

【渡部委員】

参考資料の「支出の部」を見ると、学校関係や後援会から予算が付くものは、音楽の授業だけである。本来であれば、「文化部活動補助費」の割合が安すぎるように思う。予算の段階では問題点が現れてはおらず、楽器を購入したい場合には地域活動支援事業に頼めばよいといった雰囲気が透けて見えることが少し気になる。例えば、野球部が支援事業に申請をあまり出していないように思う。提案してくるのは音楽だけだと思う。春日中学校は上越市で1番大きく、素晴らしい吹奏楽部だということであれば、少しずつ予算を持っていくべきではないかと思う。

【太田会長】

補足である。自分は春日中学校のPTAの役員等、いろいろな活動をしている。春日中学校後援会の会計やPTAでも部活動の援助を行っているのだが、部活動の補助についてはお金のかかる部にたくさん回すということではなく、確か按分だったと思う。各部に「3万ずつ」「5万ずつ」といったかたちで、均等割だったような気がする。他に意見等あるか。

(発言なし)

以上で3事業すべての意見交換が終了した。全体を通して何かあるか。

(発言なし)

以上で次第3 議題「(1) 協議事項」の「② 地域活動支援事業（追加募集分）の審査に係る意見交換」を終了する。

次に次第3「(2) その他」に入る。本日の議題に関して質問等あるか。

(発言なし)

次に次第4「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。

- ・ 次回の協議会：11月6日（金）午後6時30分～ 上越市市民プラザ 第2会議室
- ・ 内容：地域活動支援事業（追加募集分）に係る審査及び採択すべき事業の決定
その他について、何かあるか。

（発言なし）

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。